

<p>講義タイトル</p>	<p>ビジネスモデルジェネレーション</p>
<p>講義概要</p>	<p>Tongaliスクールに参加する生徒の皆さんは、何らかの意味で「起業」に興味、関心のある方々でしょう。中には、漠然と「起業」って面白そうだなと感じて参加する人もいるかもしれません。あるいは、具体的に起業したい「ネタ」を持っていて、実際にどう「商品化」するかをスクールで学びたい、と思っている方もいるかもしれません。</p> <p>この3回のワークショップ型スクールでは、起業に関心のある全ての皆さんを対象に、基本的なマインドセットを身に付けて頂くことを目的に実施致します。新しいビジネスモデルを作る為の第一歩として、如何に適切な課題設定をおこなうか、課題解決策をどの様に創造してゆくか、がテーマです。このワークショップでは、何かを教えることは致しません。皆さんそれぞれが、自分で体験し、自分で身に付けて行く、その様な場所です。私は、その為の材料と機会を提供致します。</p> <p>一日目のテーマは、「火星での生活をエンジョイする為の商品を創ろう」です。「エー、火星！」って思うかもしれませんが、2020年代には、実際に有人宇宙船を火星に送り込む計画が進んでいます。電気自動車「テスラ」で既存の自動車産業界に挑戦している、イーロン・マスクが計画しているものです。一見、荒唐無稽なテーマを現実的な課題に落とし込んでゆく彼の手法を紹介し、実際にそれを真似てみるワークショップです。</p> <p>二日目と三日目は、このTongaliプロジェクトのメンターのお一人である牧野隆広さんにお手伝い頂きます。彼の運営する施設「ミライプロジェクト新瑞橋」でワークショップを実施致します。ここは、お年寄りにデイサービスを提供する施設です。一日目で学んだ課題設定、問題解決の手法を、実際に現場で実行し</p>

しょう。短時間ですが、お年寄りと一緒に時を過ごし、未来の老人養護施設の在り方を思い描きながら、現実的な課題を見つけ出し、解決策としての新商品を提案して頂きます。

参考図書：

1. 『20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』 ティナ・シーリグ（阪急コミュニケーションズ）
2. 『経営とデザインの幸せな関係』 中川淳（日経BP社）
3. 『MAKERS 21世紀の産業革命が始まる』 クリス・アンダーソン（NHK出版）
4. 『巻き込む力 支援を勝ち取る起業ストーリーの作り方』 エヴァン・ベアー、エヴァン・ルーミス（翔泳社）

参考となるページ：

TED Talk, Stephen Petranek 『Your kids might live on Mars. Here's how they'll survive』

受講者へ一言	体験型ワークショップで一番重要なことは「エンジョイ」することです。ワイワイ、ガヤガヤ、楽しいワークショップにしましょう。
--------	--

講師情報

講師氏名	深井 昌克	
講師氏名よみ	ふかい まさかつ	
所属・役職等	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 国際産学連携・人材育成グループ 主幹リサーチ・アドミニストレーター	

略歴等	<p>長いこと、日本の銀行とメーカーに勤めていました。海外勤務歴が長く、ロンドンに8年、シンガポールに10年滞在しておりました。その間、欧州、中近東、南アジア、東南アジア、中央アジア、等で、新たな子会社や、組織を作ったり、新たな商売を立ち上げたりしてきました。</p> <p>2013年10月に名古屋大学に来ましたが、ほぼ、会社務めの時と同じように、色々新しいことに手を染めています。「Tongali」も、その一つです。要は、単なる「アタラシモノズキ」です</p>
-----	--